

尾瀬ハートフルホーム・システム(ホームステイ制度)について

令和元年度版

1 システムの目的・概要

尾瀬高校は、平成8年に自然環境科を設置し、尾瀬をはじめとする豊かな自然を背景に、自然環境に関する学習を基盤として、人間と自然との関わりについて理解を深め「自然との共生」を図ることのできる人づくりを目指すとともに、体験学習や地域等との連携・交流を通じた心豊かな人づくりを目標にして、知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を目指しています。

このような特色から、群馬県は自然環境科について全国から生徒を受け入れています。そして、自宅から通学困難な生徒(通学時間が2時間以上)に対して、地元の一般家庭等(民家や民宿)に受け入れ、日常生活のサポートを受けながら通学するという「尾瀬ハートフルホーム・システム」制度を発足させました。

生徒を受け入れる家庭のことを「ホストファミリー」といい、ホストファミリーから群馬県が部屋を指導費込みで借り上げ、生徒1人につき1部屋を月額1,000円で貸し出すという形をとっています。また生活アドバイザー(巡回指導員)を週4日間配置し、学校内外で生活のサポート(指導)をします。

このような特別な支援を受けるホームステイ生徒は、特待生ともいえます。一般のアパートや間借りとは違い、尾瀬高校の教育活動の一貫であり、ホームステイ先でも高校生活がしっかり送れるように指導や援助を受けます。

この制度を利用する場合は、趣旨をよく理解し、特待生(環境関連行事に取り組み、多くの人と交流できるような模範的な生活態度)としての自覚を持って学校生活を送ってください。

2 実施事業

(1) 保護者会(5月下旬)

P T A総会にあわせて開催し、保護者同士の情報交換等を行う。

(2) ふれあい交流会(夏季休業中、1泊2日)

ホームステイ生徒、保護者、ホストファミリー、学校職員が参加し、自然にふれ合い、語り合い、寝食をともにすることにより、親睦や情報交換、交流を深める。

(3) 公開講座(ふれあい交流会と同時開催)

本校の教育及び施設を一般に公開し、豊かな自然の中での体験活動や地域社会と交流する機会を確保する。また、ホームステイ生徒や保護者は当講座を通して、他のホームステイ生徒や地域住民とふれ合う機会とする。なお、2日間のうち、1日は尾瀬や武尊山等など野外での自然観察会とし、1日は学校での体験講座とする。

(4) 宿舍整備

ホストファミリー(生徒が下宿する一般家庭等)を学校で確保する。

(5) ホームステイ指導

生徒が健康かつ安全に生活することができるよう、基本的な生活習慣についてホストファミリーや生活アドバイザー、学校職員などが保護者と連携して行う。また、ハートフル生徒集会を年間に数回実施し、生徒同士の情報交換などを行う。

3 定員及び対象

(1) その年度の群馬県教育委員会の定める定員枠とする。

(2) 環境学習に意欲的に取り組みたい生徒で、通学困難な生徒を対象とし、次の順で優先する。

ア 利根沼田地区以外の県内の生徒

イ 県外の生徒

ウ 利根沼田地区内の生徒で、通学に公共交通機関を利用して2時間以上かかるもの。(概ね、朝6時半以前に家を出ないと始業時間に間に合わないもの、または17時以降に学校を出ると帰宅できないもの)

4 ホストファミリーへの入居

ホストファミリーは、学校の近くだけでなく、学校から離れた場所(車で5~15分程度)にもあります。ホストファミリーの決定にあたっては、学校からの距離、バスの便などの条件が違いため、**抽選により決定**します。

原則として1ホストファミリーにつき2名~7名の生徒を、また3年間同じホストファミリーに入居し、特別な事情がある場合は、関係者で協議し入居先や入居人数を調整します。

5 費用

- (1) 部屋代 ・ 県が部屋を借り上げホームステイ生徒に月額1,000円で貸し出します。(就学支援としての免除制度あり)
- (2) 食費 ・ 月額約4万円(1日3食・昼食弁当、電気、水道代等を含む。)長期休業中も同様。
- (3) 暖房費 ・ 冬季は暖房器具を使用するため、暖房費を負担します。(11月～翌年4月)
・ 費用は部屋の広さや暖房器具などの条件により異なるため、統一的に金額は定めていませんが、目安としては月額約5,000円です。
- (4) 通学費 ・ バス通学生徒はバス代を個人負担します。
・ 片品村に居住する場合は通学定期券購入補助金の交付を受けることができます。
※所要時間(学校までの時間) 鎌田:10分程度、越本:20分程度

6 参考データ [平成31年度4月現在]

- (1) システム利用生徒数
- | | 男 | 女 | 計 |
|----|----|----|-----|
| 1年 | 6 | 1 | 7名 |
| 2年 | 7 | 2 | 9名 |
| 3年 | 6 | 7 | 13名 |
| 計 | 19 | 10 | 29名 |
- (2) ホストファミリー所在地 ・ 沼田市利根町…3戸 片品村…6戸 計9戸
- (3) 1戸当たりの生徒数 ・ 1名(2戸)2名(2戸)3名(1戸)4名(2戸)5名(1戸)7名(1戸)
- (4) 通学方法(生徒数) ・ 徒歩(4名)バス(25名)
- (5) 出身地 県内12名 高崎市 前橋市 太田市 桐生市 藤岡市 安中市
県外17名 栃木県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 滋賀県
北海道
- (6) 理科部 理科部は環境関連行事を中心とした様々な体験活動に参加する部です。「調査・研究」と「交流・体験」の2つの柱で活動しています。ハートフル生徒の6割が在籍しています。

7 説明・相談会(志願する前に必ず参加してください)

夏季公開講座(7/28日)、オープンスクール(8/24土)、一日体験入学(10/20日)、尾瀬サイエンス・フォーラム(10/26土)、ウインターフェスタ自然環境科(1月中旬)などの学校主催行事にあわせて説明・相談会を実施します。この日程以外で説明や相談を希望される方は学校までお問い合わせください。

なお、説明・相談会の内容は以下の通りです。所要時間は1時間程度です。

- (1) 自然環境科について
- ①学習内容(環境専門科目や他教科の授業内容・単位数など)
 - ②卒業後の進路(過去の進路実績や在校生の進路希望など)
 - ③入学試験(前期選抜・後期選抜)
- (2) 尾瀬ハートフルホーム・システムについて
- ①システムの目的・概要
 - ②関連事業(ふれあい交流会、夏季公開講座など)
 - ③費用に関すること
 - ④入居先の決定方法
 - ⑤システム利用者(生徒・保護者)の「心得」
- (3) 個別相談(希望があれば)

8 ネイチャークラブの実施

説明・相談会とは別に、毎月第3土曜日に自然環境科卒業生の会(G-NEC)およびG-necクラブによるネイチャークラブを開催しています。これに参加し、本校の様子を見学していただくことも可能なので、希望される方は下記までお問い合わせください。

9 問い合わせ先

群馬県立尾瀬高等学校 自然環境科 尾瀬ハートフルホーム・システム係(ハートフル係)
〒378-0301 群馬県沼田市利根町平川1406
TEL:0278-56-2310(学校代表)
FAX:0278-56-3720
電子メール:oze-hs01@edu-g.gsn.ed.jp(自然環境科代表)